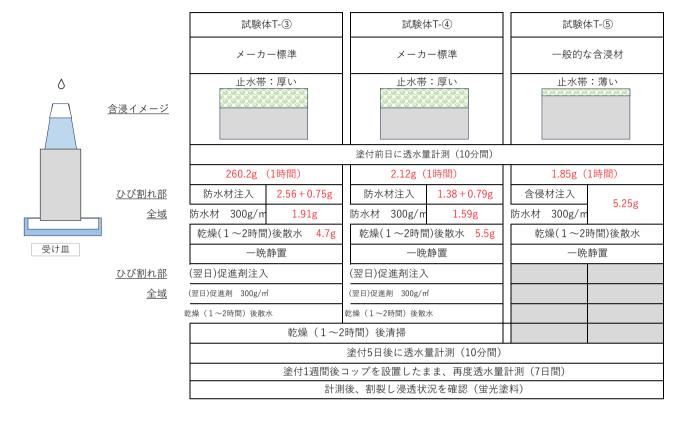
防水材と促進剤の2液による透水量試験 第3回目 (テストピース試験体)

1. 実験目的

ひび割れテストピースを用いて、防水材と促進剤の2液による止水後の透水量を計測し、止水方法による違いを確認する。



2. 実験概要

20250310 試験体状況 T-③、④















T-④ひび割れ幅0.2mm

20250312 試験体漏水状況 T-3、4









T-③ 1時間後透水量 260.2g









T-④ 1時間後透水量 2.12g

20250313 試験体状況 T-⑤





T-⑤ひび割れ幅0.3mm

20250315 試験体漏水状況 T-⑤









T-⑤ 1時間後透水量 1.85g

20250313 防水材注入塗布 T-34 20250314 促進剤注入塗布 T-34 20240314 含浸材注入塗布 T-(5)

20240315 止水状況







左からT-⑤43



左からT-③④⑤ ③④:洗浄水が残る ⑤:乾燥状態(完全漏水)

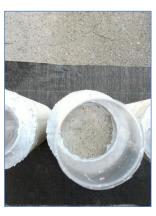
20240317 止水状況



左からT-345 左からT-⑤④③



T-③ 注水分が残る



T-④ 注水分が残る



T-⑤:乾燥状態(完全漏水)

20250321止水状況 注入7日後







左からT-⑤④③ 注水直後



左からT-⑤④③ 注水直後 裏面







漏水量0.00g









漏水量0.00g











漏水量106.99g

塗布前後の1時間漏水量

T-③ 塗布後**0.00**g(無塗布時260.20g) ほぼ止水完了を確認できた

T - ④ 塗布後**0.00**g(無塗布時2.12g) ほぼ止水完了を確認できた

T-⑤ 塗布後106.99g (無塗布時1.85g) 止水が未完了であることを確認できた

20250423止水状況(20230313~0314塗布後40日後)



注水



30分後





60分後 (左からT-⑤、④、③)

20250424止水状況(20230313~0314塗布後40日後) 止水部に蛍光塗料を塗布し、止水状況を確認する。





























20250425止水状況(20230313~0314塗布後40日後)









T-③

T-④

T-(5)

















(参考) T-② 防水材、促進剤連続塗布(止水失敗)

↓ 止水処理面









T-(3)

T-4

T-⑤

(考察)

T-③:止水処理面で止水を完了している。

T-④:止水処理面で止水を完了しているが、下端(未処理)まで防水材が到達していない。

T-⑤:止水処理ができていないので、側面から漏水する原因と推測される。

防水材は十分塗布する方がより確実な止水層を形成できる。